



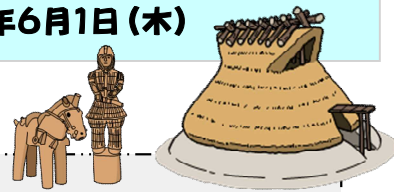
静岡市立新通小学校

出前授業レポート



静岡県埋蔵文化財センター

令和5年6月1日(木)



「子どもが目をキラキラさせて、 聞いたり取り組んだりしていました。」

静岡市立新通小学校の6年生40人が、本物の土器に触れたり、石器による試し切りをしたりするなど、歴史学習を体験することによって、古代の歴史について理解を深めることを目標に、発掘調査と周辺遺跡の話、土器の分類、石器の試し切り、火起こしの4つの体験を行いました。

発掘調査と 周辺遺跡の話



埋蔵文化財センターの業務内容を簡単に説明しました。子どもたちは、メモをとりながら真剣に聞いていました。また、小学校周辺に駿府公園や賤機山古墳があり、身近に有名な遺跡があることを再確認しました。



土器の分類体験



まだ歴史の授業に入っていなかったため、縄文時代から古墳時代についての話がピンとこなかった子どもたちも、本物の土器や土器片に触ると、興味がわいてきたようでした。

「時代が変わると土器が変わっておもしろかった。」

3種類の土器片を、完形土器と照らし合わせながら分けることがおもしろかったようで、熱中していました。

石器の試し切り体験



打製石器、磨製石器、黒曜石など、石が生活に必要なことを学び、黒曜石の切れ味を試してみました。初めは、石で物が切れるとは思ってなかった子どもたちが、意外に切れることに驚いていました。

「石で切れるとは思わなかった。野菜がきれいに切れて驚いた。家でもやってみたい。」



火起こし体験



「テレビでは、すぐ出来るけど、実際にやってみると意外に難しい。」

「手順がいろいろあって大変だった。現代がいかに楽なのかがわかった。」

火起こしの歴史について簡単に説明しました。舞きり法での実演で火がつくと拍手が起きました。



自分たちがやると、弾み車を回すのや、フーフータイムがとても大変だということがわかったようでした。

先生方の感想



「歴史学習に入る前でしたが、子どもたちが昔の暮らしを想像できているのを感じました。古代の学習の際に思い出しながら進めていきたいです。講話も3つの体験も、子どもが目をキラキラさせて、聞いたり取り組んだりして、とても楽しんでいました。火起こし、石器、土器の関連付けをしっかり説明してくれたので、納得している子が多い印象でした。ありがとうございました。」